

## 調査意見書

受理番号 106-160		学校 高等学校		教科 工業	種目 機械工作	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
1	上巻 表見返 1	下段左	棒などの素形材	不正確である。 (棒を素形材とすることは不正確である。)	3-(1)		
2	表見返 3	表4	[力] $1\text{Kg} \cdot \text{m} \cdot \text{s}^2$ [圧力・応力・弾性係数] $1\text{N} \cdot \text{m}^2, (\text{N} \cdot \text{mm}^2)$ [体積]	誤りである。	3-(1)		
			$\text{m}^3/\text{s}$ [速さ] $\text{m}/\text{s}^1$				
3	11	中央図	エンジン部分 [図名] エンジン部品の加工表面性状測定	表記が不統一である。	3-(4)		
4	19	7	丸め幅 [10行目 問5] 丸め幅	表記が不統一である。	3-(4)		
			[12行目 問6] 丸め幅 [p. 18 8行目] 丸めの幅				
5	20	6	トースカン (toscan)	不正確である。 (toscan)	3-(1)		
6	30	6	レーザー (laser)	誤記である。 (1)	3-(2)		
7	32	1	バックラッシ	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)		
8	36	図1-28	[金属表面の拡大図の例]	生徒にとって理解し難い図である。 (寸法線が不明瞭である。)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-160		学校 高等学校		教科 工業	種目 機械工作	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
9	45	7	273.13K [p.48 16行目] 273.13K	誤りである。 (273.13K)	3-(1)	
10	53	10	JIS Z 2241	生徒にとって理解し難い表現である。 (改正年の記載がない。)	3-(3)	
11	61	12 - 13	展延性に富み、変形しやすく、強くて比較的硬い。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「硬い」だけが「比較的硬い」と記載されている。)	3-(3)	
12	95	13	切削用耐衝撃用 [表2-8] 切削用 種類, 用途	根拠となるJISは、最新のものを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。 (JIS G 4404:2022に対応した記載になっていない。)	2-(11)	
			耐衝撃用 行全体			
13	110	表2-17	表 全体	根拠となるJISは、最新のものを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。 (JIS H 5203:2022に対応した記載になっていない。)	2-(11)	
14	116	23 - 24	白いハードポイント [図2-69 パビットメタルの組織]	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文と図の関係が理解し難い。)	3-(3)	
15	150	図3-18	中のような	生徒にとって理解し難い図である。 (「高速で水平回転」と「完成」の間に矢印でつないであるが、その関係性が理解し難い。)	3-(3)	
16	163	12	溶接継手の種類を図4-3に [P164 図4-3] 溶接継手の形式	表記が不統一である。	3-(4)	
17	175	図4-21	フラックスの矢印	生徒にとって理解し難い図である。 (フラックスの矢印の位置)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-160		学校 高等学校		教科 工業	種目 機械工作	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
18	191	囲み	リード	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)		
19	203	14 - 19	せん断加工は、図5-18に示すように、 一對の工具に力を加えて、その間には さんだ板材を切断したり、棒材をせん 断したりする工作法である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (板材を切断したり、棒材をせん断したりする工作 法)	3-(3)		
20	215	側注①	絞り比ともいう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「絞り率」と「絞り比」が同一であると誤解する おそれがある。)	3-(3)		
21	225	7	ロケットに取り付けられる円すい形の 先端カバー [図5-67] スピニング加工とロケットの先端カバ ー (a) ロケットブースタ部の先端カバ ー	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (「ロケットの先端カバー」と「ロケットブースタ 部の先端カバー」が混在している。また、ロケット ブースタ部の位置が図 (b) にないため、理解し難い 。)	3-(3)		
22	下巻 19	図6-23	図全体	生徒にとって理解し難い図である。 (本文1行目から3行目に「バックラッシュ除去用めね じ」「ハンドル」「固定ねじ」と記載されているが 、図示されていないため、理解し難い。)	3-(3)		
23	39	14	50mm	誤りである。 (単位)	3-(1)		
24	39	24	p. 36	誤記である。	3-(2)		
25	54	図6-81	[ (a) 深溝玉軸受 ] 外輪 内輪	不正確である。 (外輪、内輪の部品に玉を受ける溝がない。)	3-(1)		
26	86	図8-3	図全体	生徒にとって理解し難い図である。 (「1目盛は1mm」の示す部分は何か理解し難い。)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-160		学校 高等学校		教科 工業	種目 機械工作	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
27	86	図8-3	微細（コネクタピン）用精密型 [図名] 微細コネクタピン用精密金型	生徒にとって理解し難い表現である。 (名称と図名の違いが理解し難い。)	3-(3)		
28	100	図8-28	図全体	生徒にとって理解し難い図である。 (図 (a) の丸囲み部分と図 (b) が一致しなく、スケール感もないことから理解し難い。)	3-(3)		
29	112	3	含浸処理	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)		
30	116	18	フォトリソグラフィ [p.99 1行目] フォトリソグラフィ	生徒にとって理解し難い表現である。 (p.99 1行目のフォトリソグラフィとこの違いが理解し難い。)	3-(3)		
31	130	図9-24	[台車] 主電動機用セラミック溶射絶縁軸受の位置を示す矢印	不正確である。 (矢印の元の位置)	3-(1)		
32	146	上段図	[図] ④の矢印	生徒にとって理解し難い図である。 (④の矢印が何を示しているのか理解し難い。)	3-(3)		
33	149	図10-2	[図10-2 図名] 見込生産と受注生産 [図10-2 (a) 図名] 見込み生産	表記が不統一である。	3-(4)		
34	179	側注③	2500個	誤りである。	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-161		学校 高等学校		教科 工業	種目 機械設計	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
1	上巻 表見返 1		簡単にメンテナンスができるとよい→ 部品の精度を上げれば可能？	生徒にとって理解し難い表現である。 (二つの関係性が理解し難い。)	3-(3)		
2	6	左段	[目次] 問題解答・・・232	誤りである。 (232)	3-(1)		
3	8	18	飛行するため機械	生徒にとって理解し難い表現である。 (飛行するため機械)	3-(3)		
4	30	2 - 3	反時計回りと時計回りがある。 [側注①] 時計まわり, 反時計まわり	表記が不統一である。	3-(4)		
5	30	側注①	clock wise counter clock wise	不正確である。 (clock wise)	3-(1)		
6	37	表2-2	[線形 円弧 重心の下段] 中心角 $2\alpha$ の二等分線上	生徒にとって理解し難い表現である。 (中心角 $2\alpha$ の二等分線上)	3-(3)		
7	37	表2-2	[線形 円弧 重心の下段] $\theta =$	生徒にとって理解し難い表現である。 ( $\theta =$ )	3-(3)		
8	37	表2-2	[平面形 扇形 重心の下段] 重心の位置の説明	生徒にとって理解し難い表現である。 (円弧の重心と比較し, 重心の位置を示す説明がない。)	3-(3)		
9	63	11	式(2-53)を変形すれば, 次の式が得られる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (式(2-53)を変形しても, 式(2-57)にはならない。)	3-(3)		
10	79	側注① ②	上(じょう)降伏点や下(か)降伏点ともいわれる。最近では, 上(うえ)降伏点、下(した)降伏点といわれることも多い。 (JIS G 0202:2013)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記載のふりがなが, JISに記載されていると誤解するおそれがある。)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-161		学校 高等学校		教科 工業	種目 機械設計	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
11	83	図3-16	(b) 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 (断面の形と荷重Wの向き)	3-(3)		
12	86	上段	[レールの伸縮継目] 写真	生徒にとって理解し難い図である。 (伸縮継目が不鮮明で理解し難い。)	3-(3)		
13	97	表3-6	(JIS G 4051:2018)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (最新のJISに反映されていない。)	3-(3)		
14	118	11	z (小文字) [13行目] Z (大文字)	表記が不統一である。	3-(4)		
15	119	13	$13.5 \times 10^3$	生徒にとって理解し難い表現である。 (単位がない。)	3-(3)		
16	132	上図	[図名] エンタシス形状の柱	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)		
17	145	図4-7	トラム	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)		
18	153	側注②	本来の意味は、「進む」である。この場合、1回転で進む距離のこと。 (JIS B 0101:2013)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (この内容がJISに記載されていると誤解するおそれがある。)	3-(3)		
19	159	側注③	ねじ穴の形状が特殊で、取り付け・取り外しに専用の工具が必要である。タンパーブーフ(➡p.143)の考えが取り入れられたねじである(JIS B 1015:2018)。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (この内容がJISに記載されていると誤解するおそれがある。)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-161		学校 高等学校		教科 工業	種目 機械設計	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
20	163	5	スパナに加える力F [11行目] F s	表記が不統一である。	3-(4)		
21	181	吹き出し	往復運動と回転運動との交換	生徒にとって理解し難い表現である。 (交換)	3-(3)		
22	205	側注①	→p. 207	生徒にとって理解し難い表現である。 (p. 207)	3-(3)		
23	210	11	軸受圧力P [同ページ12行目] p =	表記が不統一である。 (Pとp)	3-(4)		
24	215	1 - 2	基本動定格荷重 $C_r$ と基本静定格荷重 $C_{0r}$ [表7-5 表題] 基本動ラジアル定格荷重 ( $C_r$ ) , 基本 静ラジアル定格荷重 ( $C_{0r}$ )	表記が不統一である。	3-(4)		
25	215	表7-5	係数 $f_0$ 。	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)		
26	218	11	基本動ラジアル定格荷重 [p. 215 表7-5] 基本動ラジアル定格荷重	表記が不統一である。	3-(4)		
27	219	11	表7-2の軸受系列記号62	生徒にとって理解し難い表現である。 (表7-2に軸受系列記号62の記載がない。)	3-(3)		
28	219	22	表7-5の軸受系列記号62 [25行目] 表7-5の軸受系列記号63	生徒にとって理解し難い表現である。 (表7-5に軸受系列記号62, 63の記載がない。)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-161		学校 高等学校		教科 工業	種目 機械設計	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
29	220	図7-20	(b) 直動案内	生徒が誤解するおそれのある図である。 (直動案内が循環式直動玉軸受の一つであると誤解する。)	3-(3)		
30	下巻 8	29	シンプル	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)		
31	11	6 - 7	AとBのなす角 $\alpha$ AとEのなす角 $\beta$	生徒にとって理解し難い表現である。 (図8-8 (c) と一致しない。)	3-(3)		
32	12	図8-10	固定リンクAとクランクBとの回り対偶を接点とした一点鎖線の円の図	生徒にとって理解し難い図である。 (図が何を示しているのか理解し難い。)	3-(3)		
33	12	11	てこクランク機構 crank-rocker mechanism	不正確である。 (crank-rocker mechanism)	3-(1)		
34	30	上図	施盤	誤記である。	3-(2)		
35	34	側注①	歯面	生徒にとって理解し難い表現である。 (p. 35図9-6に歯面の記載がなく理解し難い。)	3-(3)		
36	44	16 - 17	糸によって回線させる場合	生徒にとって理解し難い表現である。 (回線)	3-(3)		
37	51	2 - 3	軸間距離 [p. 51 26~27行目] 軸間距離	表記が不統一である。	3-(4)		
			[p. 65 3~4行目] 軸間距離  [p. 51 17行目, 21行目, 22行目, 25行目]				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-161		学校 高等学校		教科 工業	種目 機械設計	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
			中心距離				
38	64	14 - 15	[節末問題 3] 文全体	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)		
39	77	図9-49	寸法補助記号 C, R	不正確である。 (JISと異なっている。)	3-(1)		
40	96	図10-15 (b)	継手プレートの矢印	生徒にとって理解し難い図である。 (継手プレートの矢印の先の位置)	3-(3)		
41	108	表11-1	自動クラッチ	生徒にとって理解し難い表現である。 (作動方式による分類としていることが理解し難い。)	3-(3)		
42	124	図12-3	[図 (a)] [図 (b)] $\theta$	生徒にとって理解し難い図である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)		
43	137	19 - 20	図12-19より	生徒にとって理解し難い表現である。 (図12-19がない。)	3-(3)		
44	164	1	2 トラスに作用する力の計算方法	生徒にとって理解し難い表現である。 (表題と本文の内容が一致しない。)	3-(3)		
45	167	図14-7	図全体	生徒にとって理解し難い図である。 (本文の接点B, Dの説明と図が一致していない。)	3-(3)		
46	176	右上図	寸法補助記号 C	不正確である。 (JISと異なっている。)	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-161		学校 高等学校		教科 工業	種目 機械設計	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
47	178	右下囲み	空気スクリューは、ヘリコプタとなった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (空気スクリューとヘリコプタが同じ原理であると誤解するおそれがある。)	3-(3)		
48	191	側注①	式 (2-57)	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文「 $\mu_0 = \tan \rho$ 」が式 (2-57) に該当しなく理解し難い。)	3-(3)		
49	240	5 - 6	「草の根・人間の安全保障事業」	不正確である。	3-(1)		
50	247	図1	[ (c) フランジ付き片シールド形] 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 (図名と図が一致しない。)	3-(3)		
51	247	表6	寸法補助記号 S, R, CR, SR, C, t	不正確である。 (JISと異なっている。)	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-159		学校 高等学校		教科 工業	種目 工業情報数理	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	13	11	リード・ライタ装置 (以下 側注4 リーダー・ライタ)	表記が不統一である。	3-(4)	
2	36	表4	りい tyi びい piy	誤記である。	3-(2)	
3	47	下囲み	⑦箱ひげ図 右 最大値 第1四分位数 … 中央値	誤記である。	3-(2)	
			第3四分位数 最小値			
4	102	18 - 24	うるう年の判定については、次のとおりとする。 ・4で割り切れる年は… ・100で割り切れる年は… ・400で割り切れる年は…	生徒にとって理解し難い表現である。 (複数の条件に適合したときの説明が無く、うるう年の知識がないと解けない)	3-(3)	
			…複数あるうるう年であるための条件を順番に気をつけながら判定していく。			
5	130	問題6	for i in range(0, [ ① ]): for j in range(0, [ ② ]): (以下 299ページ問題解答 第4章6 ①6 ②i)	誤りである。 (この解答では、出力結果の先頭が空行になる。)	3-(1)	
6	132	1 - 2	a(a≠0), b, cの3つの係数をキーボードから入力して求めるプログラム (以下 プログラム a=int(input(...)) b=int(input(...))	不正確である。 (プログラムはa, b, cに整数以外を指定するとエラーになるが、問題文でそのような条件は指定されていない。)	3-(1)	
			c=int(input(...)) )			
7	141	側注2	本書では10を既定値とする。したがって、この例の場合、…小数部が6けたで表示される。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一般的な %f の挙動と異なる。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-159		学校 高等学校		教科 工業	種目 工業情報数理	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
8	207	側注5	復号化 (以下 15行 復号)	表記が不統一である。	3-(4)	
9	227	図13	青い線とその上に「光ファイバケーブル」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (青い線はすべて光ファイバと誤解する。)	3-(3)	
10	251	側注5	accessibility ⇒ JIS X8341-3 (以下 側注6 ウェブアクセシビリティという。 ⇒ JIS X8341-3)	誤記である。	3-(2)	
11	263	左下	データが7個あり、これらのデータを グラフに点で表すと図(a)のようにな った。 (以下 図(a))	相互に矛盾している。 (点が7個ではない。)	3-(1)	
12	271	図6	左のグラフ	不正確である。 (表1のデータのうち、原点のデータがプロットされ ていない。)	3-(1)	
13	273	10	$x_m = \dots$ $= (0 + 1 + \dots + 8) \div 7$ $\approx 3.9$	不正確である。 (3.9)	3-(1)	
14	273	14 - 15	$x_v$ $= ((x_1 - x_m)^2 + (x_2 - x_m)^2 +$ $\dots + (x_7 - x_m)^2) \div 7$ $= ((0 - 3.9)^2 + (1 - 3.9)^2 +$ $\dots + (8 - 3.9)^2) \div 7$	不正確である。 (3.9の影響)	3-(1)	
			$\approx 7.8$ (以下 19--23行 $xy_c, a, b, y$ の値)			
15	282	30	$9.1\text{m/s} / 11\text{s} = 0.82\text{m/s}^2$	不正確である。 (0.82)	3-(1)	
16	286	18 - 20	記号で答えなさい。 【解答群】 オ. 5 (以下 300ページ 第10章6 オ)	誤りである。 (5)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 調査意見書

受理番号 106-162		学校 高等学校		教科 工業		種目 電気回路		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定			
	ページ	行							
1	上巻 3 目次	下囲み	[右段] 第8章 電気測定	誤記である。 (「測定」)	3-(2)				
2	15	図5	[右下] トースタ	不正確である。 (本文5行「オープントースタ」に照らして不正確である。)	3-(1)				
3	23	11	電流I[A]	誤りである。 (単位記号「A」の斜体は誤りである。)	3-(1)				
4	36	21	$R_s$	誤記である。 (「s」)	3-(2)				
5	39		[上段右] POINT 平衡時の合成抵抗 (全体)	記載位置は、主たる記述、本文3行「ブリッジが平衡」及び本文8行「 $1/R_{cd}=1/R_1+R_2+1/R_3+R_4$ より」と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				
			及び POINT ブリッジの平衡とは (全体)						
6	39	15 - 16	図37(b)のように、比例辺とよばれる抵抗P[Ω]とQ[Ω] 及び	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (図37(b)には「比例辺」の表記がなく「比例辺」について理解し難い。)	3-(3)				
			図37(b) (全体)						
7	39	21	[式43の上の表記] 倍率 測定値	生徒にとって理解し難い表現である。 (「倍率」、「測定値」について説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
8	52	17	JIS C 4034-1:1999	不正確である。 (「1999」)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-162		学校 高等学校		教科 工業	種目 電気回路	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
9	54	図7	(全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (どの部分がバイメタルなのか理解し難い。)	3-(3)	
10	73	5 - 18	電流が流れにくくなったとき、酸化マンガン(IV) (MnO <sub>2</sub> )を電解液中加入すると、水素のあわは酸化されて水となり、電流の流れがよくなるので、電圧計の指示はふたたび大きくなる。…	生徒にとって理解し難い表現である。 (酸化マンガン(IV)について「活物質」あるいは「減極剤」と記述しているが、「活物質」と「減極剤」の違いや関係について理解し難い。)	3-(3)	
			MnO <sub>2</sub> のように、電極での反応に関与する物質を活物質という。 … b マンガン乾電池 マンガン乾電池は、図7のように、酸化マンガン(IV			
			)を減極剤とし、負極に亜鉛缶を用いている。			
11	79	図13	太陽電池の指示線	誤植である。	3-(2)	
12	140	5 - 6	図12(b)のように、二つの導体の外側では、破線と実線の磁力線が加わるようになり 及び	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (本文と図の関係について理解し難い。)	3-(3)	
			図12(b) (全体)			
13	142	3 及び [18行]	2019年にSIが改定され 及び	相互に矛盾している。	3-(1)	
			2018年のSI改定により			
14	142	15	299 729 458	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-162		学校 高等学校		教科 工業	種目 電気回路	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
15	142	17	$8.859 \times 10^{-12}$	生徒にとって理解し難い表現である。 (87ページで学習した「 $8.85 \times 10^{-12}$ 」にはならず理解し難い。)	3-(3)	
16	142	24 - 25	$\mu_0 = 1.256\ 637\ 062\ 12(19) \times 10^{-6}$ H/mであり、 $4\pi \times 10^{-7}$ H/mと等しいので、いままでどおり $\mu_0 = 4\pi \times 10^{-7}$ H/mと表記しても、まちがいでないとされている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (SI改定の前後で $\mu_0$ の値は等しく、「 $\mu_0 = 4\pi \times 10^{-7}$ 」であると誤解する。)	3-(3)	
17	148	15	鉄心の透磁率 $\mu_0 = 4\pi \times 10^{-5}$ H/m	生徒にとって理解し難い表現である。 (本書において量記号「 $\mu_0$ 」は真空の透磁率を表しており理解し難い。)	3-(3)	
18	150	図6(b)	鉄心の抵抗	不正確である。 (「抵抗」)	3-(1)	
19	168	図 13(a)	電流Iの矢印	不正確である。 (向きは不正確である。)	3-(1)	
20	168	図14	V (3箇所) 及び [169ページ 5行]	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ記号が異なっているのか理解し難い。)	3-(3)	
			v 及び [169ページ 図15]			
			e (2箇所)			
21	168	16 - 17	整流子片S1, S2とブラシB1, B2によって、導体abはbからaに、導体cdはdからcに誘導電流が流れ	生徒にとって理解し難い表現である。 (導体ab及びcdに流れる電流の向きは整流子片やブラシとは関係がなく理解し難い。)	3-(3)	
22	169	1 - 3	図14(c)はさらにコイルが回転し、導体abは右側、導体cdは左側に移動した場合である。このとき、右側の導体abにはbからaへ、左側の導体cdにはdからcへ誘導電流が流れるが	生徒にとって理解し難い表現である。 (図14(c)に照らして理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 106-162		学校 高等学校		教科 工業	種目 電気回路	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
23	169	5	誘電電流	誤記である。 (「誘電」)	3-(2)		
24	175	14	点P	生徒にとって理解し難い表現である。 (「点P」はどこのことか理解し難い。)	3-(3)		
25	175	図25	(全体)	不正確である。 ( $r$ と $r/2$ の長さ)	3-(1)		
26	195		[中段右 POINT 3行] 周期[Hz]	誤りである。 (「周期」)	3-(1)		
27	下巻 3 目次	下囲み	[右段] 4節：電磁誘導と磁気エネルギー	誤記である。 (「磁気」)	3-(2)		
28	88		[上段左 POINT] Syste'e	誤記である。	3-(2)		
29	115		[右段 話題 4-5行] AD変換装置 及び	表記が不統一である。	3-(4)		
			[右段 話題 基本構成の図] A-D変換回路				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

